

チューリップ新品種の発表

- 県が育成したチューリップの新品種が
来月から予約販売開始の見通し
- 品種名は「春のワルツ」



新品種「春のワルツ」の特徴

- 花の色は桃色、花型はユリ咲き
- 茎と葉が強く花壇植えに適している
- 球根の収量性が良く、病気に強い
- 命名理由



- 花がワルツを踊るバレリーナのよう

これまでの経過①

➤ 県農林水産総合技術センター園芸研究所が育成

① 平成13年交配、平成18年初開花

② その後、選抜と検定試験を繰り返し、球根を増殖

➤ 品種名は、関係者から応募のあった候補

(165点)から、「チューリップ新品種

命名検討委員会」(令和3年8月)が選考

これまでの経過②

- 令和3年12月に国に品種登録を出願
- 県育成としては41番目の品種
- 令和3年から県内生産者のほ場で球根を増殖
- 球根の数が販売ロット以上となる目途が立ったことから、予約販売の開始に先立ち、今回発表

今後の予定

➤ 令和6年4月23日～5月5日

となみチューリップフェア2024の会場内で

① 花を展示

② 県花卉球根農協が球根の予約販売を受付

（6月に球根を収穫し、秋以降に発送・販売予定）

（農産食品課・農業技術課）